

平成26年度 うるま市景観まちづくり

景観まちづくりワークショップ（浜区）かわら版

※この「かわら版」は、浜比嘉島地区の景観まちづくりの取り組みについて、情報の共有や共通理解を図るために作成したものであり、全世帯に配布いたします。

景観まちづくりワークショップ（意見交換会）は、区の呼びかけのもと以下の日時で行いました。

◎日 時：平成26年11月20日（木） 19:00～21:00

◎場 所：浜区公民館

景観まちづくりワークショップ（意見交換会）は、浜区の住民および集落景観に関心ある方を対象に、以下の目的・ねらいで行いました。

①景観まちづくりの方向性（望ましい集落の姿）について

②個人でできること、地区でできること、市と協働でできること

浜区から16人が参加し2グループに分かれて意見交換しました。以下はその概要です。

ワークショップ（意見交換会）の様子

最初にこれまで行ったワークショップの内容を、パワーポイントを使っておさらいしました。



次に、2グループに分かれて意見交換し、各グループで話し合った内容を発表しました。

グループA 発表



グループB 発表



主な意見（キーワード）

グループA

【A 将来の方向について】

- ◎観光も含めて目指すべき
- ◎ただし、観光化したからといって人が集まるとは限らない、ソフト面とハード面とのバランスが大切、無理な開発は逆に魅力を失う

【B 残して活用したい資源について】

- ◎学校跡地の地域らしい活用
- ◎空き地の活用や壊れかかっている石垣を保全できる仕組み
- ◎ムラガーや拝所は残したい資源
- ◎島全体の案内板と資源の説明板、それを回るルート板、案内は地域の人

【C 生活環境の整備について】

- ◎住む所と働く場所があればよい
- ◎仕事はないと言いながらネタはある
- ◎消防団は組まないといけない
- ◎側溝のつくりが悪く台風の際に海水が逆流し床上浸水してしまう
- ◎教育環境の充実も必要
- ◎清掃活動は、高齢化しているため若者のサポートが必要
- ◎公民館と学校跡地の間の道幅を広げ舗装を変える
- ◎バス停の屋根

【D 地区指定やルール等について、その他】

- ◎基準そのものは概ね5年以降をめぐりに状況に即して見直しすることができる
- ◎既に建っているものについては適用しない。新築や増改築の際に適用される
- ◎景観地区になると、現在の良好な景観を継承していくための行為に対して助成していくことが可能になる
- ◎去年、今年と色々な意見を聞いてきたが次年度以降は基準づくりの作業となる

【まとめ】

- ・観光も含めて目指すべき。ただし、観光化すれば若者が定着するとは限らない。
- ・浜らしい観光化にはハードとソフトの調和が必要。活性化するには住む場所が必要。空き家の活用などやり方次第だと思う。仕事のネタは意外とある。
- ・島の魅力はたくさんある。人が定着できる環境ができ、若い人がはいつてきて子ども達が遊ぶ安心安全な環境ができればよいと思う。
- ・毎年基準を変えていく訳にはいかないので、基準づくりは時間をかけて住民の意見をくんだものにしたい。

グループB

【A 将来の方向について】

- ◎あまり変わってほしくない。現状のままでいい
- ◎観光客が増えても地域が活性化するとは限らないと思う

【B 残して活用したい資源について】

- ◎空き家の活用

【C 生活環境の整備について】

- ◎子ども達が遊べる公園
- ◎排水溝の修繕、生活排水の改善
- ◎住まいの確保
- ◎ビーチのゴミ、夜間の騒音対策
- ◎屋敷や空き地の枝葉の管理
- ◎電気代のかからない足元を照らす外灯や防犯反射灯

【D 地区指定やルール等について、その他】

- ◎次年度から具体のルールづくりと支援策を検討していく必要がある
 - ・景観地区の内容について
 - ・石垣や塀・垣の基準
 - ・助成の対象
 - ・条例の内容について
 - ・その他

【まとめ】

- ・集落の現状を残しながら新しいものを取り入れたい。
- ・観光客が入ってきてもいいが、マナーを守ってほしい。
- ・空き家の活用や排水溝の修繕など生活環境整備が必要。
- ・住民の意向を取り組みながら活性化を図る。
- ・次年度から具体のルールづくりと支援策を検討していく必要がある

次回の予定

- ◎浜比嘉地区景観資源めぐり
（午前と午後に分けて浜区と比嘉区を巡ります）
- ◎日時：平成27年1月18日（日）
 - 浜 区（9:30～12:00）浜区公民館集合
 - 比嘉区（13:30～16:00）比嘉区公民館集合